

# JAMA電子情報フォーラム2020

## ビジネスシステム（BS）部会 活動概要

一般社団法人 日本自動車工業会

電子情報委員会  
ビジネスシステム部会  
部会長：小山幸雄

2020年2月13日

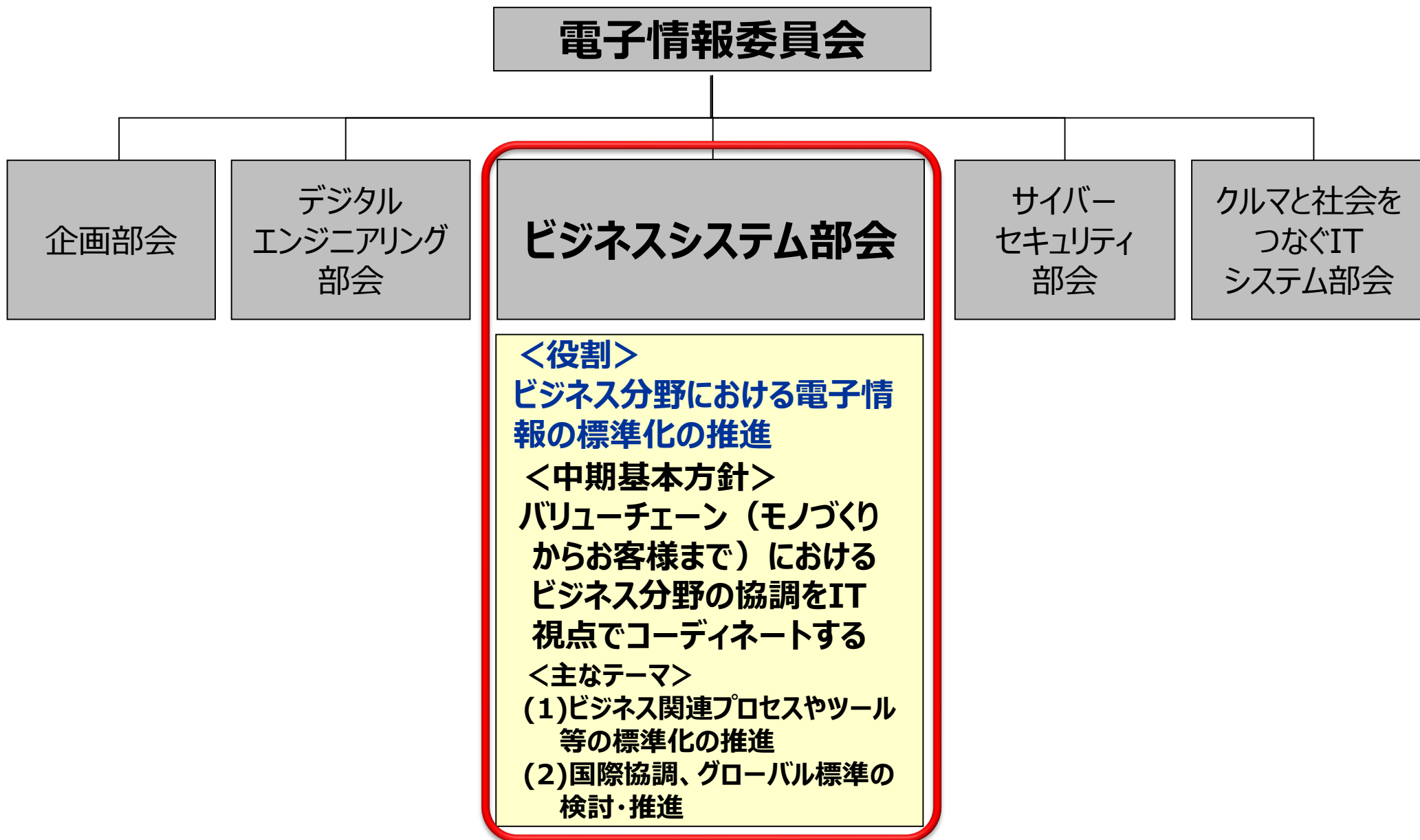
## 1 ビジネスシステム部会の役割と体制

## 2 ビジネスシステム部会の歴史

## 3 ビジネスシステム部会の活動実績（2017年度～2019年度）

## 4 ビジネスシステム部会次期中期計画（2020年度～2022年度）

# 1-1. 電子情報委員会組織と当部会の位置付け



# 1-2. ビジネスシステム部会の体制（2019年度）

## ビジネスシステム部会

部会方針決定、OEM14社参画

### BS統括分科会

部会の方針案検討、標準維持・管理、  
国内外情報交換

### NextEDI-WG

次期EDI標準策定に向けた調査/検討

(注)

### AIDC-WG

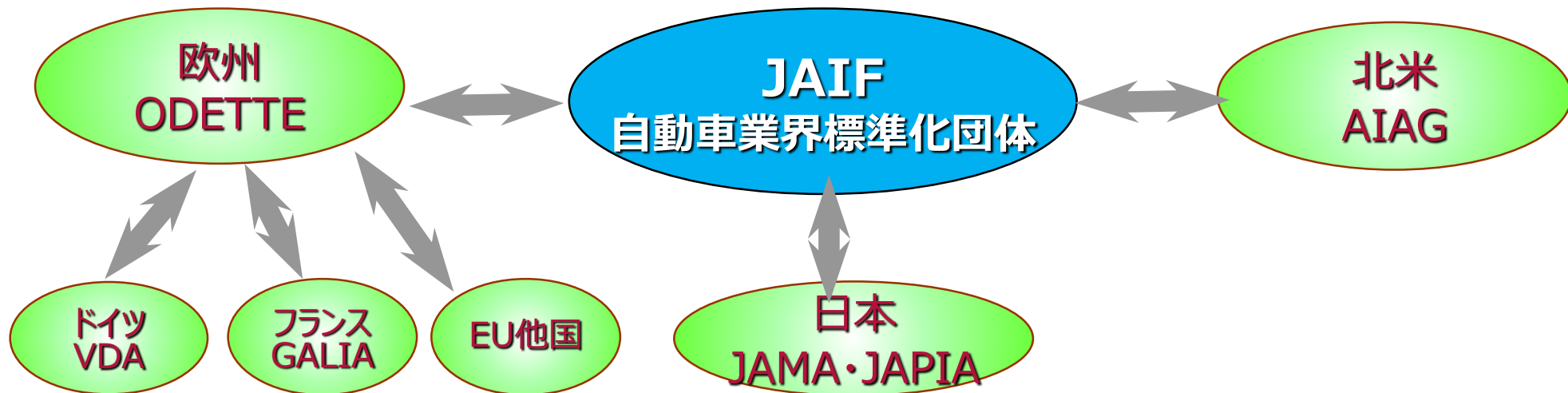
自動認識ガイドライン作成・維持・普及

(注)

AIDC : Automatic Identification and Data Capture

# 1-3. 国際協調活動体制（ビジネスシステム関連）

- 日米欧自動車業界のITビジネスシステム部門の合同フォーラムであるJAIFで標準化を検討



ODETTE : Organization for Data Exchange by Tele-Transmission Europe

VDA : Verband der Automobilindustrie e.V. (ドイツ自動車工業会)

GALIA : Groupement pour l'Amelioration des Liaisons dans l'industrie Automobile (フランス自動車工業会)

JAIF : Joint Automotive Industry Forum

JAMA : Japan Automobile Manufacturers Association (日本自動車工業会)

JAPIA : Japan Auto Parts Industries Association (日本自動車部品工業会)

AIAG : Automotive Industry Action Group

(米国自動車工業会)

1 ビジネスシステム部会の役割と体制

2 ビジネスシステム部会の歴史

3 ビジネスシステム部会の活動実績（2017年度～2019年度）

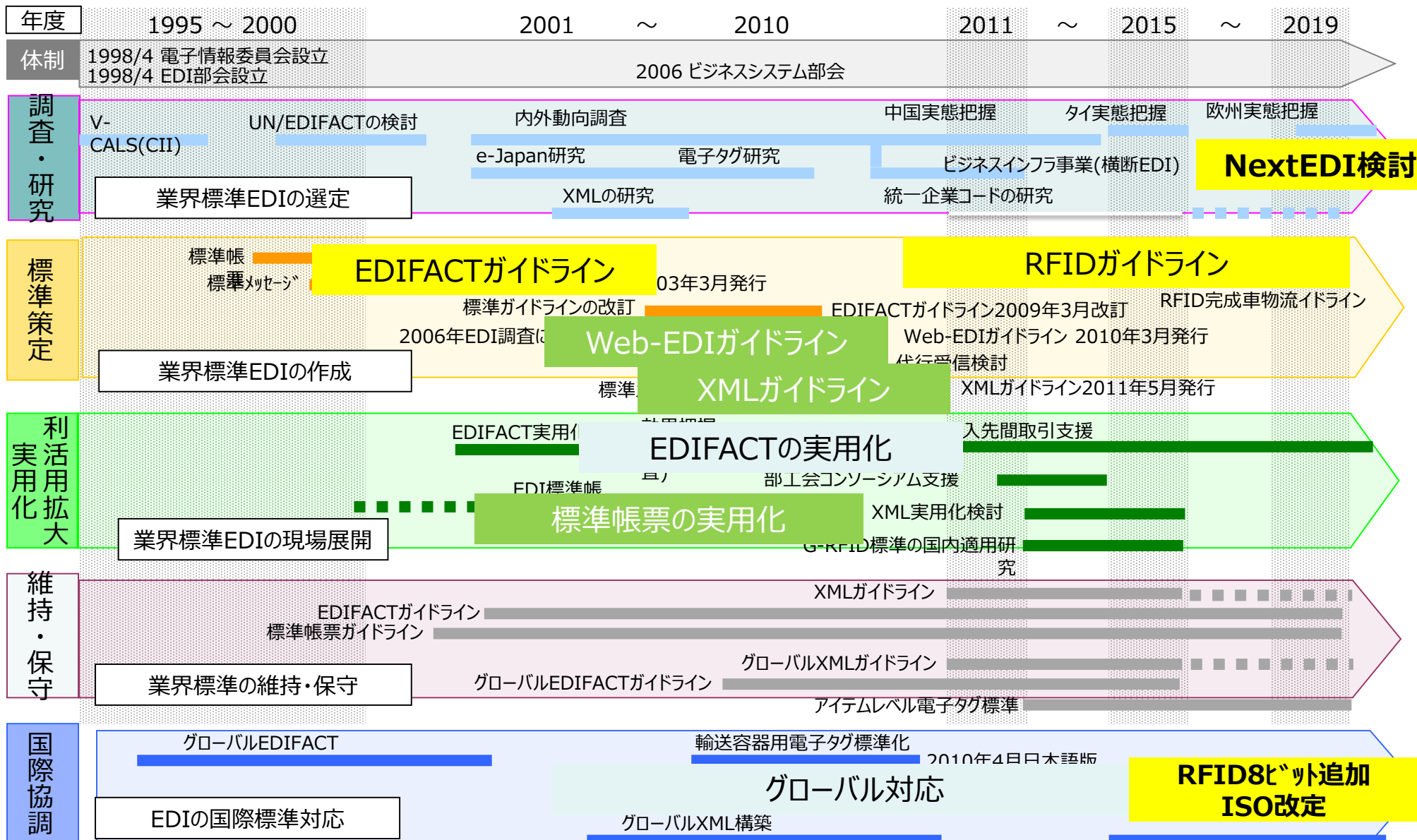
4 ビジネスシステム部会次期中期計画（2020年度～2022年度）

## 2-1. ビジネスシステム部会の歴史（概要）

EDI標準化では2000年にEDIFACTを業界標準EDIに決定。2006年からビジネスシステム部会となり2016年にはEDIFACTを補完するNextEDI-WG活動を開始。AIDC活動では2015年からRFID 8ビット追加ISO改定プロジェクトも推進中。

年代	1994年～	1998年～	2006年～
体制	EDI標準化 検討会	電子情報委員会 EDI部会	電子情報員会 ビジネスシステム部会
EDI標準化	・自動車業界EDI 標準選定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・EDIFACTを業界標準に決定（2000年）</li> <li>・導入開始（2003年）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・EDIFACT普及促進セミナー</li> <li>・中小企業EDI（JNX共通EDI）対応</li> <li>・NextEDI-WG開始（2016年～）</li> </ul>
AIDC			<ul style="list-style-type: none"> <li>・電子タグ研究WG発足（2006年）</li> <li>・完成車RFIDがトライン（2014年）</li> <li>・RFID8ビット追加ISO改定推進（2015年～）</li> </ul>
国際協調		・ODETTE Conference参加（1998年～）	・日米欧3極のJAIF発足（2006年）

# 2-2. ビジネスシステム部会の歴史（年表）





1 ビジネスシステム部会の役割と体制

2 ビジネスシステム部会の歴史

3 ビジネスシステム部会の活動実績（2017年度～2019年度）

4 ビジネスシステム部会次期中期計画（2020年度～2022年度）

# 3-1. 2017年度～2019年度中期基本方針

- ・災害対策ニーズの高まり  
東日本大震災、タイの大洪水、熊本震災など、中小のサプライヤも含めた災害対策のニーズが高まっている。
- ・急激な環境変化  
IoTの進展に伴い、つながる工場等が現実のものとなる。  
情物一致による物流におけるさらなる効率化が求められている。
- ・取引形態の変化  
グローバル取引増加、OEM間相互供給増加、メガサプライヤによる部品共有化、業際取引増加など、ビジネス変化への対応が求められている。
- ・経産省推進施策  
経産省が進める「中小企業のEDI化促進」に対しても考慮が必要となっている。

上記を踏まえたサプライチェーンの将来形の策定が必要

**中期方針：サプライチェーンの『つながる枠組』を定義し活用していく**

# 3-2.中期活動計画（2017年度～2019年度）

施策		2017年度	2018年度	2019年度	中期末目標
大分類	中分類				
サプライチェーンの『つながる枠組』を定義し活用していく	『つながる枠組み』検討	パイロットテーマ検討			■ 『つながる枠組み』の要件定義
		スキーム検討	企画	要件定義	
	枠組みコンテンツの標準策定	NextEDIガイドラインの作成		NextEDI機能検証	■ NextEDIがトラン作成
		AIDC輸送容器、部品のガイドライン作成			
業界標準の普及/定着化	標準の維持/改定	標準帳票がトランの維持・改訂			■ ニーズに基づく改訂
		EDIFACT/XMLがトランの維持・改訂			
		AIDC関連がトランの維持・改訂			
	啓発/広報活動	関連団体との協調による標準普及の定着			■ 標準の普及・啓発
標準化の発信企画・開催					
国際競争力強化に向けた取り組み	国際標準化	グローバル標準がトランの改訂・維持・管理			■ JAIFでの検討維持・管理
		新規提案に対する検討			
渉外/協調活動	国内外情報交換	海外カンファレンスでの情報交換			■ 海外動向調査継続 ■ 他業界との意見交換
		国内他業界との情報交換			

### 3-3. 主要テーマの活動スケジュール

・『つながる枠組』はパイロットテーマにトライし、その結果を踏まえ先行テーマを推進、又、Next-EDI、AIDCを計画通り推進中

方針		2017年度	2018年度	2019年度
サプライチェーンの『つながる枠組』を定義し活用する	つながる枠組	パイロットテーマ（災害対策）にトライ	スキーム検討・企画 先行テーマ（原産地証明・車検証電子化）推進	
	Next EDI	Next-EDI（WG、OEM）技術検証、ガイドライン企画立案		
	AIDC	5 ▲ JAIF承認	RFID8ビット追加ISO改訂推進	AIDCリターナブル輸送資材適用ガイドライン ▲ 発行
国際協調	5 ▲ JAIF、Odette Conference	海外カンファレンスでの情報交換	11 ▲ JAIF、Odette Conference	

## 3-4. 主要テーマの活動内容

### ◆つながる枠組み

#### <パイロットテーマ>

- ・災害対策 … 他業界の対策実態把握、自動車業界の対策案検討

#### <先行テーマ> ⇒ **パイロットテーマの活動を生かし、他委員会との連携を重視**

- ・原産地証明 … 国際委員会 特惠原産規則分科会の業界システム構築をIT視点で支援
- ・車検証電子化 … 流通委員会 サービス部会と連携し国交省に対し自工会要望を取りまとめ

### ◆NextEDI

- ・2020年度ガイドライン発行に向け活動中
- ・他業界（JEITA）、他団体（トヨタWG共通EDI）との協調活動も着手

### ◆AIDC

- ・RFID8ビット追加ISO改定をJAISA（日本自動認識システム協会）と推進、2020年度承認見込み
- ・AIDCリターナブル輸送資材適用ガイドライン作成、2019年度末発行予定

1 ビジネスシステム部会の役割と体制

2 ビジネスシステム部会の歴史

3 ビジネスシステム部会の活動実績（2017年度～2019年度）

4 ビジネスシステム部会次期中期計画（2020年度～2022年度）

## ・自工会2030モビリティビジョン

安全・安心、便利な飛躍的に進化したモビリティ社会の実現、  
豊かなモビリティ社会の追及、事業領域の拡大（CASE）、デジタル産業をリード  
→モノづくりを超えた役割を担っていく、と受け止め

## ・自動車ビジネスのデータ利活用の拡大

車検証が紙からICカードに変わることを契機として、データ利活用による  
自動車ビジネス変革を考えるチャンス到来

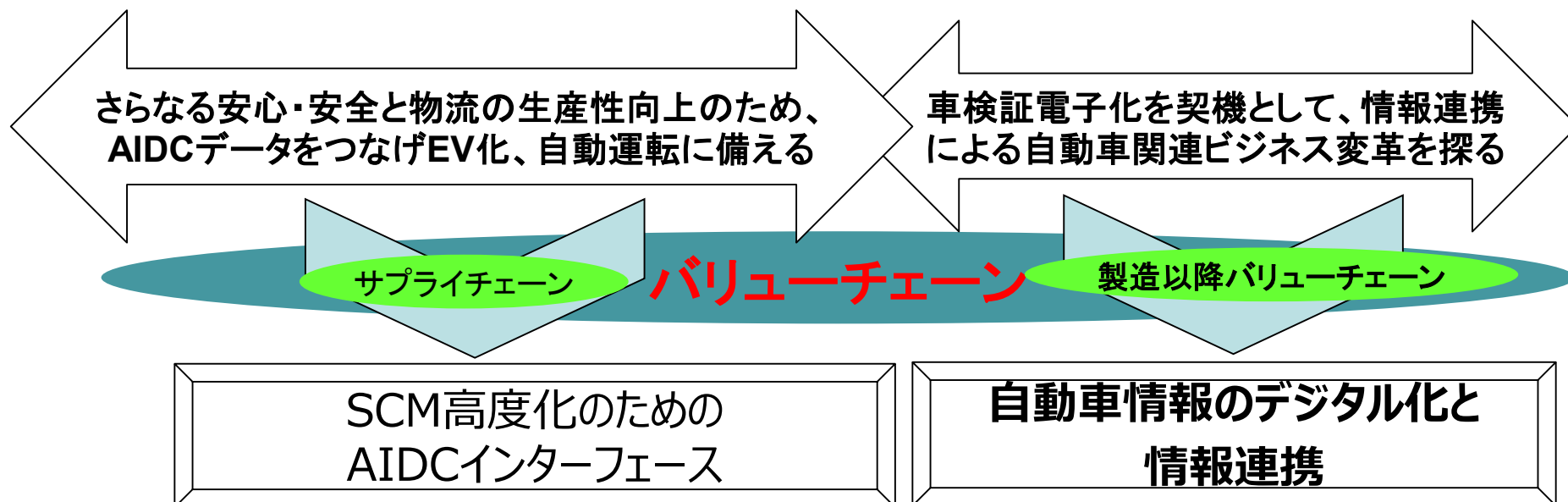
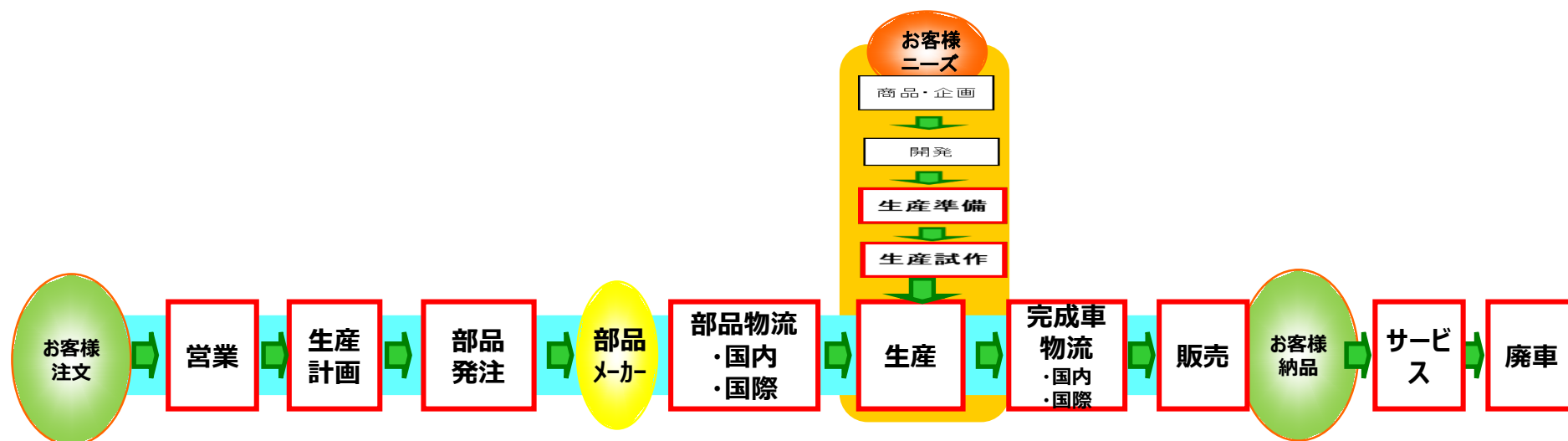
## ・ビジネスシステム部会 取り組み範囲の拡大

従来はSCM領域を中心に取り組んできたが、上記背景から製品製造以降の  
ビジネス領域も対象として取り組んでいく

## <ビジネスシステム部会 中期基本方針>

バリューチェーン（モノづくりからお客様まで）における  
ビジネス分野の協調をIT視点でコーディネートする

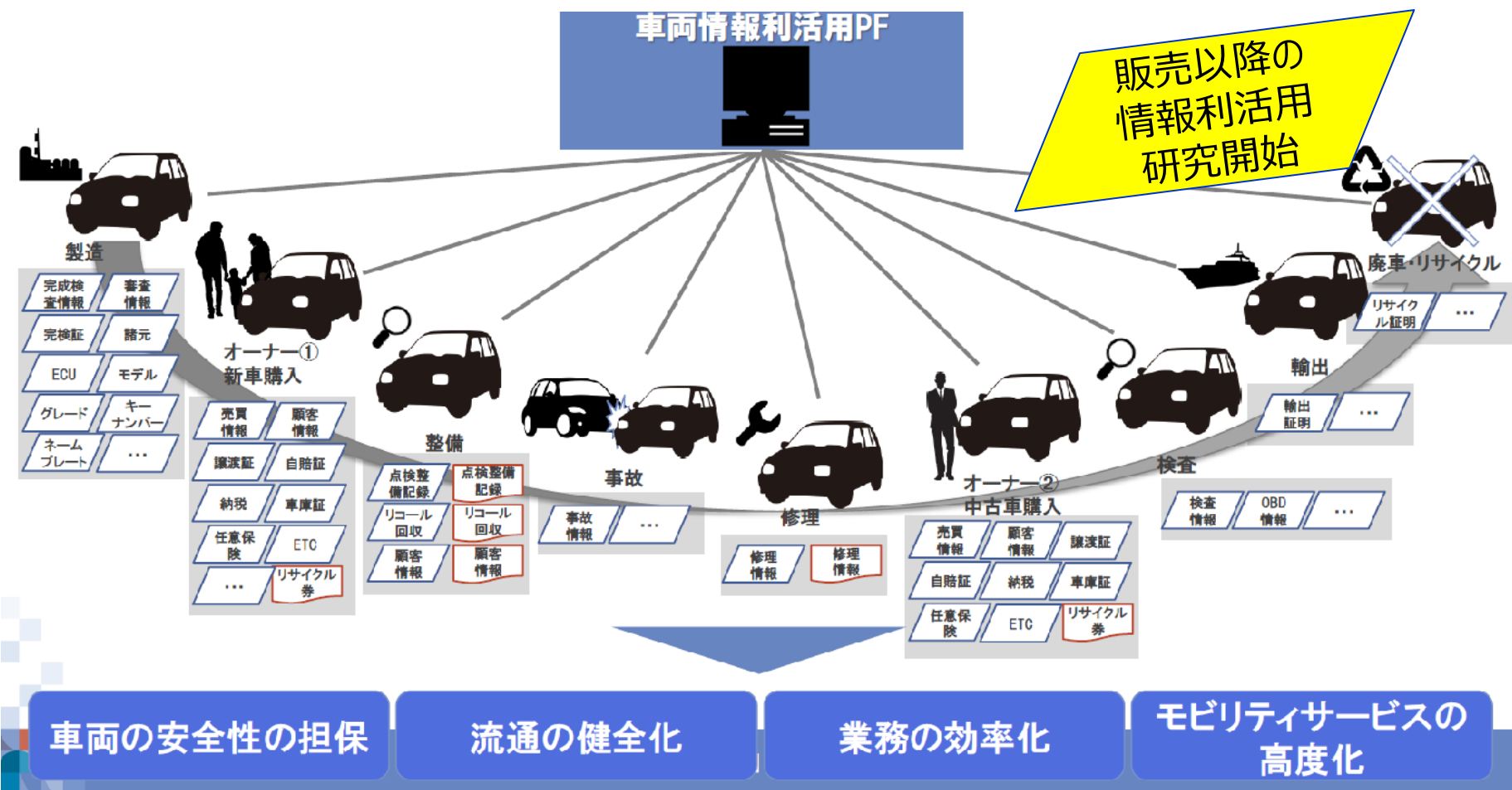
# 4-2. 次期中期計画のイメージ図





## ■ 車検証電子化を契機として、情報連携による自動車関連ビジネス変革の可能性探る

情報が紙媒体で保有されていることや、電子情報が個社に閉じていることで情報の流通が図れていないことから、情報利活用の機会を逸している現状があると想定している。情報のデジタル化、それらの連携・活用による「安全・安心の担保」「自動車流通の健全化」「自動車関連業界の業務効率化」の実現性を研究する



# 4-4.次期中期活動計画（2020年度～2022年度）JAMA 一般社団法人 日本自動車工業会 JAPAN AUTOMOBILE MANUFACTURERS ASSOCIATION, INC.

施策		2020年度	2021年度	2022年度	中期末目標	
大分類	中分類					
業界標準の普及/定着化	新たな業界協調領域の創出活動	業界協調テーマ抽出 グランドデザイン策定			<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 創出・調査領域の拡大（モノづくりからお客様まで）グランドデザイン策定</li> <li>■ 業界協調テーマ推進</li> </ul>	
		車両情報利活用PF研究等の具体的テーマの検討・推進				
	既存施策の推進	NEXTEDI ガイドライン化検討・作成			登録車スタート	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ NextEDI 初版ガイドライン発行完了</li> <li>■ 車検証ICカード化に向けた関連システムの改訂完</li> </ul>
		車検証電子化への対応				
	標準の維持/改定	標準ガイドライン（帳票/EDIFACT/NEXT)の維持・改訂				<ul style="list-style-type: none"> <li>■ ニーズに基づく改訂</li> </ul>
		AIDC関連ガイドラインの維持・改訂				
	啓発／広報活動	関連団体との協調による標準普及の定着				<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 標準の普及・啓発</li> </ul>
		標準化の発信企画・開催				
	国際競争力強化に向けた取組み	国際標準化	グローバル標準ガイドラインの改訂・維持・管理			<ul style="list-style-type: none"> <li>■ JAIFでの検討維持・管理</li> </ul>
			新規提案に対する検討			
渉外／協調活動	国内外情報交換	海外カンファレンスでの情報交換			<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 海外動向調査継続</li> <li>■ 他業界との意見交換</li> </ul>	
		国内他業界との情報交換				

ご清聴ありがとうございました。

引き続きJAMA活動へのご理解とご協力を  
宜しくお願い致します。